

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 平成27年12月22日(月) 午後5時30分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 教育長報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

(教育委員)

委 員 長	西 野 正 博
委員長職務代理者	金 丸 公 一
委 員	中 筋 斉 子
委員(教育長)	石 田 肇

(出席職員職氏名)

部 長	中 村 俊 二	副 部 長	畑 下 茂 生
参事(兼生涯学習課長兼生涯学習センター所長)	藤 原 千 鶴	教育支援センター長	瀬 野 克 幸
教育総務課長	河 田 政 章	学校教育課長	上 道 貴 志
一貫教育課長	金 久 洋	教育支援課長	富 治 林 順 哉
教育総務課副課長	須 原 隆 之	学校教育課副課長	井 上 宜 久
教育支援課副課長	海 老 瀬 正 純	生涯学習課副課長	今 庄 真 樹

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長	上 田 ひ と み	教育総務課主任	河 田 章 博
-------------	-----------	---------	---------

開 会 （午後5時30分）

開会宣言 委員長が12月教育委員会定例会の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

委員長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、中筋委員を指名する。

日程第2 会期について

委員長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 教育長報告

- (1) 平成27年12月市議会定例会について
 - (2) 文教福祉常任委員会について（平成27年11月26日）
 - (3) 文教福祉常任委員会について（平成27年12月16日）
 - (4) 平成28年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について
 - (5) 平成28年（2016年）宇治市成人式について
 - (6) 宇治市個人情報保護条例第40条第1項の規定に基づく諮問に対する答申及び宇治市情報公開条例第17条第1項の規定に基づく諮問に対する答申について
 - (7) 宇治市の児童・生徒数推計について
 - (8) 宇治市教育委員会後援事業について
- 以上8件を報告する。
-

[説 明]

(1) 平成27年12月市議会定例会について

[一般質問] 12月9日・10日・11日・14日

質問議員16名（うち教育委員会関係12名）

西川 友康 議員

薬物問題について

- ・未成年者の薬物使用防止について

荻原 豊久 議員

宇治市のまちづくりについて

- ・学校施設整備について

長野 恵津子 議員

文化行政について

- ・源氏物語ミュージアムの今後について

少子高齢化時代の市民ニーズに応える施策について

- ・公立幼稚園について

岡本 里美 議員

子どもの生活習慣を整える取り組みについて

- ・家庭での携帯電話使用のルールづくりについて
- 小・中学生からの主権者教育について
- ・18歳選挙権引き下げにあたって

中村 麻伊子 議員

発達障害について

- ・発達障害の現状について

池田 輝彦 議員

薬物乱用防止対策について

- ・青少年の薬物乱用防止対策の取り組みについて

山崎 恭一 議員

小中一貫校・宇治黄檗学園について

- ・黄檗学園の施設状況について
- ・小中一貫校について

真田 敦史 議員

教育について

- ・宇治学の推進について
- ・スクール・サイエンス・サポートについて
- ・学校支援チームについて
- ・中学校昼食について

浅井 厚徳 議員

(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園整備について

- ・課題の整理と今後の見通しについて

渡辺 俊三 議員

ゆきとどいた学校教育環境の確保について

- ・小・中学校の多人数学級の解消について
- ・産休・育休・病休教職員の代替教職員の確保について
- ・教育費の保護者負担に軽減について

堀 明人議員

市長の政治姿勢について

- ・(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業における今後の進め方について

宮本 繁夫議員

(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園整備事業について

- ・(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園の計画の概要(改訂版)について

(2) 文教福祉常任委員会について (平成 27 年 1 月 26 日)

宇治中学校校舎改築に係る旭化成建材 (株) の杭工事について

平成 27 年 1 月 24 日、旭化成建材(株)から国土交通省へ調査結果の報告があり、同社が平成 25・26 年度に施工した宇治中学校校舎改築建築工事 (校舎・屋内運動場) の杭工事については、データの流用等がなかったことが明らかになったことを報告した。

(3) 文教福祉常任委員会について (平成 27 年 1 月 16 日)

請願第 27 - 6 号

「誰もが安心して子どもを産み、育てられるよう宇治市の保育の充実を求める」請願主に保育所に関わる問題であり、担当は福祉子ども部が中心となったが、請願の中に公立幼稚園の廃止や民営化、また幼保連携型認定子ども園への意図的な移行は行わないでほしいとの項目が入っていた。最後に請願に賛成の立場と反対の立場から討論があり、採択の結果、不採択にすべきものとなった。

議案第 74 号

小倉小学校給食棟他新築建築工事の請負契約を締結するについて

報告第 34 号

宇治市教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

(4) 平成 28 年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について

募集期間は、平成 27 年 10 月 28 日から 11 月 24 日までとした。

学校見学会については、募集の初日、10 月 28 日に授業参観、学校見学、学校説明会を実施した。なお、学校見学会の参加者は 9 名だった。

通学区域外就学許可願を学校に提出し、校長面接を受けた者、いわゆる入学希望者は 3 名だった。3 名のうち 1 名は特認在校生の弟妹枠により優先入学することとしている。

今回の募集については特認在校生の弟妹枠を除き 3 名としたので、無抽選で、2 名の入学予定者を決定した。

この結果、平成 28 年度の笠取小学校の在校生については、地元が 5 名、特認が 14 名、総数 19 名になる見込みである。

(5) 平成 28 年 (2016 年) 宇治市成人式について

成人式は、平成 28 年 1 月 11 日 (月) 成人の日に宇治市文化センター大ホールで開催する。今年度の対象者は男 974 人、女 907 人、計 1,881 人である。主催は、宇治市・宇治市教育委員会・宇治市成人式実行委員会である。

実行委員会は、市内在住の新成人から公募した男性 4 名で構成されており、式典での新

成人代表挨拶は、実行委員長が行う。

特別企画では、中央公民館で活動している和太鼓サークル「渦」がオープニングを飾り、FMうじに出演している京都在住のダンス・ポップ・ミクスチャーバンド「DUFF(ダフ)」に演奏を依頼している。また、例年人気の高い、中学校の恩師からのメッセージも上映する。これは実行委員が各学校を回り、撮影したものである。

なお記念品は、実行委員のアイデアにより、実用性を重視してボールペンを準備した。

次に、平成28年成人式パンフレットの記載内容に誤りがあった件について、事案の経過であるが、パンフレットに掲載した市立中学校のうち、榎島中学校と東宇治中学校の校章に誤りがあることが12月11日に判明した。パンフレットは既に新成人に発送済みであったが、校章を修正の上、再発送することとした。12月24日には新しいパンフレットが納品される見込みであり、ただちに発送作業に取りかかる予定としている。

続いて、事案発生要因と再発防止に向けてであるが、今回の事案は、各中学校に対して原稿の確認を行わなかったこと等が要因であると考えている。

今後は、本来行うべき事務手続きを再度精査するとともに、文書や印刷物については誤ったものを送付することがないように、複数の職員で確認を行い、細心の注意を払うことで、再発防止に努めていく。

(6) 宇治市個人情報保護条例第40条第1項の規定に基づく諮問に対する答申及び宇治市情報公開条例第17条第1項の規定に基づく諮問に対する答申について

本年6月5日に、市教委に対して、個人情報開示請求と公文書公開請求があった。これについては、同月19日に、個人情報部分開示決定及び公文書部分公開決定を行った。

この決定に対し、7月10日に請求者より、個人情報の開示決定及び公文書の公開決定の両方について異議申し立てがあったことから、個人情報部分開示決定に対する異議申し立てについては宇治市個人情報保護条例第40条第1項の規定により宇治市個人情報保護審議会へ、また公文書部分公開決定に対する異議申し立てについては宇治市情報公開条例第17条第1項の規定により宇治市情報公開審査会へ、それぞれ諮問を行った。

今般、これらの諮問に対する答申を宇治市個人情報保護審議会と宇治市情報公開審査会よりそれぞれ受け取ったため、資料1及び資料2のとおり、報告をするものである。

異議申し立ての内容だが、個人情報不開示決定及び公文書非公開決定があったとの申し立てであったが、「個人情報の不開示決定及び公文書非公開決定は存在しない」との答申をいただいたところである。

しかしながら、宇治市個人情報保護審議会から受け取った答申の中の補足意見、また宇治市情報公開審査会から受け取った答申の中の付言の双方において、学校において文書作成時の起案処理に不備があることと、請求者に対する説明の不十分さの指摘がされており、今後、改善に向けての取り組みが求められているところである。

また、答申を受けて、本日、異議申立人に対し、異議申し立てを却下する旨の通知書を発送したことを併せて報告する。

(7) 宇治市の児童・生徒数推計について

本推計は、平成27年5月1日時点の児童生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基にして、現在の0歳児が小学校1年生になる平成33年度までの児童生徒数を推計したものである。なお、推計中の学級数については、小学校1年生と2年生は1学級35人以下、3年生以上の学年は1学級40人以下で推計している。また、教室数については、5月1日時点の教室数を記載している。

推計表(総括)は、平成33年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。「小学校児童数推計表(総括)」については、左側から、学校名、平成27年5月1日現在の数値、平成28年から平成33年までの推計となっている。平成27年5月1日現在の列に「実C」、「C」、「児童数」と並んでいるが、真ん中の「C」の欄は小学校1年生と2年生を1学級35人で、3年生以上を40人で学級を編成した時の理論値である。それに対して「実C」の欄は、小人数学級を編成したものも含む、今年度の実際の学級数を掲載している。なお、特別支援学級については、学級数、児童・生徒数ともに各校の下段に括弧書きで掲載しており、その数は全体の内数となっている。また、この特別支援学級の児童・生徒数は、小学校では今年度の数値をそのまま推移させ、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものである。「中学校生徒数推計表(総括)」についても、小学校と同じ構成になっている。

各学校の学年別の推計表では、5人以内の人数変動で学級数が増減する学年欄に白丸と黒丸を記している。白丸は5人以内の児童数減で学級数が減少すること、黒丸は5人以内の児童数増で学級数が増加することを表している。

今後、平成33年までの推計で増加傾向を示しているのは、小学校では西小倉小学校、西大久保小学校、宇治小学校、中学校では木幡中学校である。しかし、小学生は平成31年度には1万人を、また、中学生は平成28年度に5千人を下回る見込みとなっており、全体的には少子化の傾向が続くものと考えている。

(8) 宇治市教育委員会後援事業について

宇治市連合育友会が2015年12月6日に実施した「第33回文化発表会」をはじめ、全部で12件の事業について後援したことを報告する。

[質 疑]

[委 員] 議会報告「教育費の保護者負担の軽減について」の答弁の中で、実際の運営については学校間で差異があるのではないかと考えていると答えているが、学校間の差異については市教委で把握しているのか。また、把握していないならば把握する必要はないのか。

[事務局] 給食費は別として、教材に充てる学校徴収金等については、市教委でこ

れまで詳細について把握していなかった。ただし、学校の現状を聞いている限り、実際には差異があるのではないかと認識している。府教委の通達の趣旨を踏まえて、適切な運用をしていただくよう、今後も学校に周知徹底を図っていきたいと考えている。

- [委 員] 学校によって使用する教材等にそれほど違いがあるとは思えないのだが、学校によって保護者負担額に差異があるということか。
- [事務局] 一般的には保護者負担とするものについては、府教委からの通達に示されているので、その趣旨に基づいて保護者に負担していただくものと公費で負担するものを明確に切り分けることが大切だと考えている。その点について、学校によって不十分な部分があるかと思われるので、今後改善を図っていきたい。
- [委 員] 学校徴収金の実態を調査すると回答しているが、調査した結果、不適切なものはあったのか。
- [事務局] 詳細については今後の調査ということになるが、使い道によって保護者負担とするものか、公費負担とするものかが変わってくるので、詳細に聞き取りを行い、もし不適切な点があれば、改善していきたいと考えている。
- [委 員] 宇治市個人情報保護審議会から受け取った答申の中の補足意見、また宇治市情報公開審査会から受け取った答申の中の付言の中で、改善への取り組みを求められたわけだが、どのような取り組みを行ったのか。
- [事務局] 今回の答申の結果を受けて、各学校における文書の取り扱いの現状を把握していくことと併せて、各学校には宇治市立学校文書管理規程に基づく適切な文書の管理の徹底を図っていただくようお願いしていきたいと考えている。
- [委 員] 児童・生徒数推計について、今後、普通教室数を超える学校があるが、それぞれの学校の教室数の確保についてはどのように対応していくのか。
- [事務局] 「宇治市の児童・生徒数推計」の1ページに小学校児童数推計表(総括)があるが、その中で保有普通教室数が現状の教室数を超えている学校が2つある。ひとつは宇治小学校の平成30年度であり、もうひとつが三室戸小学校の平成29年度および平成30年度である。宇治小学校については黄檗中学校と併設で小中一貫校となっており、黄檗中学校の保有普通教室数と合わせると当該年度は保有教室数内で推移している。また、三室戸小学校の平成29年度および平成30年度の普通教室数不足については、今年度、三室戸小学校の校舎の増築の設計予算を計上しており、新たに普通教室を増築する予定である。
- [委 員] 成人式のパンフレットに誤りがあった件について、パンフレットを作成する際にインターネット上で校章を取得したが、その校章の確認作業ができていなかったと地元紙に掲載されていた。それは、毎年、確認作業を行っていなかったということか。それとも、毎年行っていた確認作業を今年

は行わなかったということか。また、31万円の税金の無駄遣いと報道されていたが、今回の一件について当該職員に対する指導や厳重注意等は行われるのか。

[事務局] 成人式のパンフレットについては、本来ならば校章を記載した相手側に原稿の確認を求めるべきであるが、その作業を含め、相手側への確認作業は従来からできていなかった。また、必要経費を当該職員や担当課職員が負担するという事はない。報道にあったとおり公費を使って再度、印刷と発送を行うことになる。費用については印刷と発送を含めておおよそ31万円になる。報告を受けたその日に関係者に謝罪を行った上で、翌日の朝礼で、今回の事案は一職員の問題ではなく、誰にでも起こりうる事務上の初歩的なミスであると受け止めるよう職員に話し、再発防止に向けての注意喚起を行った。これから顛末書をあげていく段階であり、処分等については、現時点では決まっていない。

閉会宣言 委員長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時10分)